

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
【発行日】 平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公表番号】 特表 2000-507076 (P2000-507076A)

【公表日】 平成 12 年 6 月 6 日 (2000.6.6)

【出願番号】 特願 平 10-529153

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/32

G 0 1 T 1/24

H 0 4 N 5/335

【F I】

H 0 4 N 5/32

G 0 1 T 1/24

H 0 4 N 5/335 E

【手続補正書】

【提出日】 平成 16 年 12 月 27 日 (2004.12.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 補正の内容のとおり

【補正方法】 変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年12月27日



特許庁長官 小川 洋 殿

1. 事件の表示

平成10年 特許願 第529153号

2. 補正をする者

住所 (居所) オランダ国 5621 ベーアー アインドーフエン
フルーネヴァウツウェッハ 1

氏名 (名称) コーニンクレッカ フィリップス エレクトロニクス
エヌ ヴィ

3. 代理人

住所 〒150-6032 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号
恵比寿ガーデンプレイスタワー32階

氏名 (7015) 弁理士 伊 東 忠 彦
電話 03(5424)2511 番 (代表)



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

(1) 請求の範囲の記載を別紙の通り補正する。

請求の範囲

1. 映像放射線に感応する画像センサ素子及び上記画像センサ素子に接続された制御可能スイッチング素子を個々に含み、行及び列のマトリックスに配置された画像検出素子と、

上記画像検出素子から電気的変数を読み出すように上記スイッチング素子を駆動する読み出しドライバとを有する、画像をピックアップする放射線検出ユニットを含み、

上記マトリックスの各列は上記画像検出素子の多数のグループに分割され、

上記画像検出素子の各グループに読み出し導体が設けられ、各導体は、関連した上記制御可能スイッチング素子を介して、当該列と関連した上記画像センサ素子のグループの中の1個の画像センサ素子に接続可能であり、

各読み出しドライバの出力は、上記画像検出素子の行の制御可能スイッチング素子の夫々の制御電極に接続された関連した制御導体に接続されている、放射線を用いて画像を形成する装置において、

各読み出しドライバは、同じ列導体と関連していない少なくとも2行の画像検出素子に接続され、

このように1個の読み出しドライバに接続された行の行数は、多くても1列内の画像検出素子のグループの数であることを特徴とする装置。

2. 上記読み出しドライバは、1個の制御導体だけを各読み出しドライバに接続することにより、少なくとも2行の画像検出素子に接続され、

上記制御導体は上記少なくとも2行の画像検出素子に接続さ

れている、請求項 1 記載の装置。

3. 1 個の読み出しドライバに接続される画像検出素子の行数は 2 行である請求項 1 又は 2 記載の装置。

4. 1 列内の画像検出素子のグループの数は 4 である請求項 3 記載の装置。